

のしろ児童館だより

小松市北浅井町1号21 TEL・FAX 22-6430 平成23年9月号

人生のモデル

2学期がやってきました。また規則正しい毎日が始まります。
子ども達は、2学期の生活に期待を持ち、またしっかりやろうと頑張っていることでしょう。

子供は、偉人伝を読んで、「あんな人になりたい」と頭に理想の人間像を描きます。身近に優れた人物を見ながら「僕もあんな野球選手になりたい」とか「私はあんなピアニストになりたい」「私はあんな先生になりたい」と夢を描きます。身近なところにモデルがあることが、子供の人生に明確な指針を与えていきます。

子供に『きれいな声で歌おうね』と言っても、きれいな声を聞いたことがない子どもには、きれいな声の出し方が分かりません。そんな時、きれいなソプラノやバリトンの歌声を聞かせるのが、一番効果があります。きれいな声のモデルがあるからです。水泳が上達するには、泳ぎの達人の泳ぎを目の前で見るのが一番言い刺激になることでしょう。

私達もそうだったと思います。いろいろな人に触れ、いろいろな人生に触れ、多感な思春期には本も読んで、「あんな生き方がしたい」と、人間の生き方について感動し、自分の生き方を決める時のモデルにしてきたはずです。意識しよういとしまいと必ずどこかにモデルがあったはずです。

それなのに、今の日本のテレビは毎日毎日低俗なお笑い芸人のトーク番組が多く、それらを見て育つ子供達の未来に与える影響をあまり考えていないようで気になります。

週刊誌に、こんな興味深い記事がありました。野村総合研究所のレポートによれば、「テレビを消せばエアコンの1,7倍節電できる」というのです。

これによると、エアコン1台を止めることで期待できる節電効果(1時間あたりの消費電力)は130ワット。一方、液晶テレビを1台消すと220ワットとなるということです。単純に比較しても、テレビを消す節電効果は、エアコンの約1,7倍にもなるということです。さらにレポートは続きます。「この夏エアコンを使わずに熱中症でなくなる人が続出しているにもかかわらず、「テレビを消す」という選択肢を国民に知らせないテレビ局は社会の公器といえるのか。」と続きます。エアコンの使用期間は長いので一概にそうとは言えないかもしれませんが、液晶テレビは意外に電力を消費するものなのですね。

秋がやってきました。節電のためにもテレビを消し、子供と一緒に本の世界を楽しみたいものです。そして子供と共に人生の良いモデルを大人の私達も探したいものです。